

## 刊行概要の変更について

刊行概要は、区史の装丁や組体裁、執筆者が原稿を執筆するための基本ルールを定めた執筆要項など、区史を刊行するために必要な項目をまとめ、平成30年第1回港区史編さん委員会において決定しました。

しかし、巻による組体裁（縦書き・横書き）の違いや時代特性による読みやすさが異なります。このことから、次のとおり刊行概要を一部変更します。

刊行概要	変更前	変更後
項番4 組体裁	原始・古代・中世～現代編 縦書き モノクロ 1段 資料編 縦書き モノクロ ※段組は検討中	原始・古代・中世～現代編 縦書き モノクロ（口絵はカラー） 1段 資料編 縦書き モノクロ（口絵はカラー） ※段組は検討中
項番5 字数	A5 1段組 約800字	A5 1段組 約960字
項番7執筆要項構成①	文の構成は、章、節、項、 <u>吊り見出し</u> 、4種類とします。また本文とは別にコラムを配置します。一つの節または項が長くなる場合は <u>吊り見出し</u> を…	文の構成は、章、節、項、 <u>見出し</u> 、4種類とします。また本文とは別にコラムを配置します。一つの節または項が長くなる場合は <u>見出し</u> を…
項番7執筆要項（1）構成②	字数は、1～4ページ（見開き2ページ以内）、1ページあたり800字とし、それを超える場合は、 <u>吊り見出し</u> や項…	字数は、1～4ページ（見開き2ページ以内）、1ページあたり800字程度とし、それを超える場合は、 <u>見出し</u> や項…
項番7執筆要項書式④数字	本文中の数字は <u>半角算用数字</u> とし、 <u>新聞による数字表記を基準</u> とします。数量や順序などを示す場合は原則として…	本文中の数字は、 <u>原則として縦書きの場合は漢数字、横書きの場合は半角算用数字とし</u> 、 <u>新聞による数字表記を基準</u> とします。 <u>横書きの場合は、数量や順序などを示す場合は原則として</u> 例)【表記例 縦書きの場合】 例示変更
項番7執筆要項書式④数字	(記載なし)	本文中において図表などの参照指示を行う場合は、半角算用数字とします。

<p>項番7執筆要項 (2) 書式④数字</p>	<p>例)【表記例 横書きの場合】 10月25日午後11時40分ごろ、 港区役所9階、42.195 <u>キロメー トル</u>、125億4,500万円、7,000 人(万以上からは単位語を付け る)等</p>	<p>例)【表記例 横書きの場合】 10月25日午後11時40分ごろ、 港区役所9階、42.195km、125億 4,500万円、7,000人(万以上か らは単位語を付ける)等</p>
<p>項番7執筆要項 (7) 参考文献①</p>	<p>本書巻末に参考文献のページを 設け…</p>	<p>本書巻末または章末に参考文 献のページを設け…</p>